

2018. 3. 21

お世話になっております。

カナダより最後の報告をさせていただきます。

さて、今日の朝は、8:30頃から大きなスーツケースを持って現れた生徒達。学校の入り口で生徒たちがホストファミリーとの最後の挨拶を交わしていました。重そうなスーツケースを教室まで運ぶのを手伝ってくれたり、特別なランチボックスを渡してくれたり、最後のプレゼントを渡しているファミリーもいました。そして半分以上の生徒が目には涙を浮かべ、「帰りたくないです」と切実な思いをぶつけてきました。ホストファミリーにハグをされながら「また戻って来てね」という言葉で涙が止まらなかった生徒もいます。また、渡来君、大門君はホストファミリーの車が遠く見えなくなるまでずっと手を振って見送っていたのがとても印象に残っています。

ある生徒は、朝一で大嶋先生、平井先生に「どうやったら、ここカナダに長く滞在できますか？パスポートがなければ明日帰らなくてもいいんですよね？」とまで考え、先生方へ相談したようです。また昨日のさよならパーティの後ホストファミリーとの時間がとても有意義だったようで、生徒の日記からも「本当に帰りたくない」「2年後、大学生になったらここカナダに戻って来る約束をした」「今回のプログラムに参加した目的など全て色々と話したら、ここにいなさい、と言われ涙があふれた」など正直な気持ちが日記に書かれていました。私たちを受け入れてくれた優しいホストファミリーに感謝です。

9時過ぎ、最後の英語の授業がスタートです。どのクラスからも昨日の様に笑い声が聞こえてきました。最後の最後まで楽しむ生徒の姿が見うけられました。そして色々な事にも慣れ英語で聞くことを恐れなくなったようで、何かあれば生徒が自らバディや先生に英語で質問に行く姿が多くみられました。全ての授業が終わり、ホストファミリーが作ってくれた最後の心のこもったランチを食べました。サンドイッチが入っている紙袋、「we will miss you」とホストファミリーからの最後のメッセージが書かれているものもありました。

学校の忘れ物、パスポートなどを再度確認し、スーツケースを積み込み、バスに乗り込みます。チリワックのユニティとも、これでお別れ。バスの中から過ぎ去るユニティの学校にみんなで手を振りました。青空でお天気も良く、生徒は皆清々しい顔をしていました。

30分位走ったところで、アボッツフォードカーリング場に到着です。去年と同じ場所で、またカーリングのインストラクターもお世話になった方々ばかりでした。「待っていたよ」とあたたかく迎えて下さり、早速荷物をおいて、準備をしてリンクへ。今年はオリンピックでのカーリング日本人選手の活躍がとても目立ちました。テレビにしがみついて応援した人も多かったでしょう。その後、多くの日本人に知れ渡ったカーリング。そのカーリングをすることが出来る！といつも以上にはりきっていました。「そだねー」と嬉しそうに声をかけあっている女子生徒もいました。ストーンを投げる姿やスィープする姿も様になってきて生徒たちも楽しそうでした。全員で「目指せオリンピック！」というようグループ写真をとりました。

した。15:30にインストラクターにお礼を言い、ここでバディとはお別れです。なかなか名残惜しくお別れできず、泣いてしまったバディもありました。そんな生徒を必死にバスに乗せこみ、バディたちに「連絡取り合おうね」と手をふり、お別れをとなりました。

その後、一時間ちょっとバンクーバーまで移動をし、オリンピック聖火台で写真を撮り、ギヤスタウンで最後のショッピングを楽しみました。今度は日本の家族へ感謝をこめてお土産選びです。その後、地元でも有名な「オールド スパゲティ ハウス」でのディナーです。パスタやラザニア、お肉などチョイスが沢山あります。サラダやアイスもついてくるので、お互いのオーダーを確かめ合いながら最後の晩餐を楽しんでいました。

バスでホテルに向かう中、滞在するホテルの注意事項、これからも事、明日の流れについて確認したあと、最後にツアーコーディネーターのメリッサ、そして英語を教えてくれたマシュー。二人から一言ずつメッセージをもらいました。今日最後3度目のお別れです。バスを降りて荷物を受け取ってからなかなか生徒も二人とお別れできず、写真を撮ったり、ハグしたり、最後の別れを心から惜しんでいました。バスを全員で見送った後、チェックインをして各自お部屋へ移動しました。早速鍵を中に入れたまま出てきた生徒もありました。またインターネットのつながり方、荷物のはかりなど、生徒たちも自ら英語でフロントに質問している姿はとても頼もしかったです。22:30消灯です。

今回の研修も、生徒にとって充実した素晴らしいものとなりました。一生忘れる事のできない思い出、良い経験ができたのではないかと思います。きっと大変なこともあったでしょう。いつも一緒にいてくれたホストファミリー、バディ、先生。人の優しさに触れながら考えさせられることも多かったと思います。そんな方たちとの素晴らしい出逢い。。。

“出逢いは人を大きくし、別れは人を強くする”

このカナダでの生活は英語以上に学んだ事が多かったと思います。

それをばねに、また今後の学校生活も、目標を持って頑張っていきたいと思っています。

さあ、いよいよ明日帰国です。

研修最後まで気を抜かず、全員無事に帰国したいと思います。

以上、遅くなりましたが、カナダからの最後のご報告とさせていただきます。

アイエスエイ

添乗員 原田 玲子









